

感動の卒業式、そして喜びの修了式を間近にして



「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われるように3学期はあっという間に月日が過ぎ、気づいてみると平成29年度も残すところあとわずかとなりました。週が開けて3月19日（月）には、16名の6年生が中野上小学校を巣立っていきます。また、在校生も3月23日（金）に修了式を迎えます。

そこで、今回は通知表について考えてみました。卒業証書には、「小学校の課程を修了したことを証します」とあります。また、通知表の後ろ側にも「第〇学年の課程を修了したことを証します」とあります。この課程というのは、単に学業だけを指すものではなく、学校という小さな社会の集団生活において、社会性を育み、心と体のバランスのよい成長を図るための意図的・計画的な営みを意味しています。学校は、自分のよさを見つけ、自分の力を伸ばす所です。そして、社会の中で生きていくための基礎を身につける所です。私たち職員は、年間をとおし、『良い習慣づくり』に取り組んできました。例えば「気持ちのよい挨拶を交わす」、「靴や上履きをきちんと揃える」、「掃除を頑張る」、「丁寧な言葉遣いをする」、「身の回りを整頓する」等、あたりまえのことをあたりまえに行うということを中心にしてきました。良い習慣が身につけば意欲が出てきます。意欲がある子は頑張れます。頑張れる子は学力や運動能力が高まります。また、生活の基礎・基本としてのルールやマナーなど、社会性を身につけることは、我慢する力や自分をコントロールする力をつけ、ますます自分を高めることができます。

この1年間で子供たちは一段とたくましくなり、心身ともに大きく成長しました。4月からは、それぞれひとつ上の学年に進級します。6年生は、中学校へと進学します。それぞれ新しい学年・学校に向かって、さらに飛躍していくものと信じています。

説明が長くなりましたが、「通知表」は、1年間お子さんと向き合ってきた担任が記したお子さんの成長を伝えるひとつの道しるべですので、○の場所や△の数だけでなく、この1年間でどんな成長をしたのか、皆さんが感じたことをお子さんに語り、お子さんの頑張りを聞いてあげてください。そして、また新しい学年でがんばる力を蓄える機会となるように願っています。



保護者の皆さま、地域の方々には、本校教育にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。特に、寒い日も雨の日も登下校を見守っていただいた見守りボランティアの皆様、「さつまいもの苗植え、芋掘り」「餅つき」等、学校行事ボランティアとして携わっていただいた方々に心より感謝申し上げます。加えて、来年度も中野上小学校へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

1年間、つたない文章をお読みいただきありがとうございました。

校長 土井 安博